



「嗅覚コミュニケーションラボ」をオープン

ロート製薬

ロート製薬は、オープンイノベーションラボ「BELAIRLAB(ベアララボ)」をオープンする。プロジェクト第1弾では、ドラッグストアトモズなどを運営するトモズと、トモズオリジナルの香りを取り入れた店舗づくりを通じて、より来店客に満足度の高い店舗を目指した取り組みを行う。

同社は健康寿命への挑す商品や空間を世の中に戦を軸に、医薬品やスキンケア化粧品の開発を行うだけでなく、近年では食や再生医療へも挑戦を行い、社員自身の健康増進に向けた健康経営にも積極的に取り組んでいる。

近年の研究で香りに生理的、心理的な効果があることを突き止め、着目してきた同社では、「BELAIRLAB」を通じて、香りが人体に起こす生理現象や行動の変化を科学的な方法で検証することで、社会にポジティブな影響をもたらす

「BELAIRLAB」は、創るメカニズムを製品開発や生産性向上に活かす。企業の目的に合わせて「KANSEI Design & Co.」の4者が連携することで香りがもたらすビジネスコミュニケーションの可能性を探る。

バスクリン

オーラルフレイルに着目した 洗口液を通販限定で発売

バスクリンは、生薬の豊富な知見を活かして2014年からシニア層をターゲットにした製品開発を進め「悠々と快適なセルフケアシリーズ」として通販限定で展開している。4月1日には同社初となるオーラルケア製品(薬用洗口液)を発売し、シリーズを拡充した。



力が低下していく「フレイル」という段階があり、その手前にあたる「前フレイル期」にオーラルフレイルの症状は現れると言われている。今回、開発した薬用洗口液でシニア層の口内環境をサポートし、オーラルフレイルのセルフケアを啓発していく。

「バスクリン 薬用洗口液」は、口臭原因菌を殺菌し、歯垢の付着を防ぐセチルピリジニウム塩化物水和物、歯肉炎によ

るハレ・までも使用できる。炎症を防ぐグリチルリチン酸ジカリウム、歯ケアは社会問題として深刻化していく。介護は多くの方が避けられない問題でもあり、「悠々と快適なセルフケアシリーズ」で提案する商品へのニーズは今後ますます高まっていくと見ている。

低刺激ノンアルコールタイプで、義歯をつけたままの柱の事業に成長するポテ

ンシャルは十分ある」と話す。

また、一般流通向けの主力の入浴剤カテゴリーも、近年はECの売上構成比が1割以上に高まってきており、昨年からのECへの対応を見直している。

Web広告の最適化などを進めたところ、今年1~3月の入浴剤EC売上高は前年同期比30%増で好調に推移したという。

働き方改革を加速

桃谷順天館



桃谷順天館グループは、4月より時間単位年次有給休暇取得制度、フレックスタイム制度を全社的に導入し、時短勤務者の給与控除撤廃等、改革を加速させた。

これにより、働き方改革を進めるうえで各企業が課題となる「経営者や社員の意識統一」「制度利用しやすい風土づくり」「IT環境整備をクリアし、社員一人ひとりが働き方を自分で選択することができる環境へと変化した。

同社では、全社員の意識改革を行うための一環として、ワーク・ライフバランスの小室淑恵社長を招き、「経営戦略としての働き方改革」についての社内講演会も開催。よい職場環境で働くことでモチベーション向上につながり、生産性を高める好循環が既に生まれているという。

マンダム

「天猫国際」に 旗艦店をオープン

マンダムは5月16日、インターネットショッピングサイトの「天猫国際(Tmall Global)」に「mandom 漫丹海外旗艦店」をオープンした。

今回、中国の生活者により手軽に「安全・安心・高品質」な商品をお届けするために、同社の主力4ブランド32品目(黛若詩(ビフェスタ)13品、倍丽颜(バリアリペア)8品、杰士派(ギャツビー)

8品、伦士度(ルシード)3品)を販売している。

